



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (連結)

平成18年1月31日

上場会社名 株式会社エヌジェーケー

(コード番号: 9748 東証第二部)

(URL <http://www.njk.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 谷村 直志
責任者役職・氏名 管理本部 経理部長 長谷川 正 (TEL: 03-5722-5700)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(1) 「固定資産の減損に係る会計基準」の適用 (2) その他事業に係る返品調整引当金を返品引当金に変更
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

なお、平成17年10月1日を合併期日として連結子会社エーアイ出版株式会社と連結子会社エヌジェーケーテクノ・システム株式会社は合併しております(存続会社はエヌジェーケーテクノ・システム株式会社)。

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	10,669	△ 0.2	146	—	254	—	△ 66	—
平成17年3月期第3四半期	10,692	2.8	△ 166	—	△ 97	—	△ 133	—
(参考) 平成17年3月期	15,167		164		267		79	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成18年3月期第3四半期	△ 4	71	—	—
平成17年3月期第3四半期	△ 11	39	—	—
(参考) 平成17年3月期	5	06	5	05

(注) ①売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

②当社グループの主力事業であるソフトウェア開発事業は、売上高が3月に集中する傾向が強いため、第4四半期以外の各四半期は売上高、利益とも減少する傾向があります。

(参考) 平成18年3月期第3四半期経営成績(個別)の進捗状況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	9,291	2.5	153	—	309	—	308	—
平成17年3月期第3四半期	9,063	4.1	△ 150	—	△ 30	—	△ 56	—
(参考) 平成17年3月期	12,866		127		283		100	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成18年3月期第3四半期	21	73	21	61
平成17年3月期第3四半期	△ 3	85	—	—
(参考) 平成17年3月期	6	92	6	90

(注) ①売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

②当社の主力事業であるソフトウェア開発事業は、売上高が3月に集中する傾向が強いため、第4四半期以外の各四半期は売上高、利益とも減少する傾向があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

① 当第3四半期の概況

売上高につきましては、ネットワーク機器・システム商品販売事業が学校法人向け案件の増加などにより順調に推移しました。一方、オリジナルパッケージ開発及び販売事業につきましては、OCRパッケージの大型ソリューション案件が前年同四半期に比べ少なかったことなどにより減少しました。これらの結果、売上高は全体で106億6千9百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

利益につきましては、主力のソフトウェア開発事業をはじめとして原価の抑制および販売管理費の圧縮に努めたことなどにより、営業利益1億4千6百万円（前年同四半期営業損失1億6千6百万円）、経常利益2億5千4百万円（前年同四半期経常損失9千7百万円）となりましたが、特別損失として減損損失2億2千1百万円を計上したことなどにより、四半期純損失6千6百万円（前年同四半期 四半期純損失1億3千3百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

- ・ ソフトウェア開発事業
受注単価の引き下げなど厳しい状況が続いておりますが、携帯電話端末ソフト等を中心とした通信関連分野や、クレジットカード案件などの業務アプリケーション分野が堅調に推移しました。また、稼働時間管理の徹底など原価の抑制に努めたことにより利益を確保しました。
- ・ ネットワーク機器・システム商品販売事業
当社グループのオリジナル製品や高付加価値商品を活用したセミナーや提案型営業を進めた結果、学校法人向け案件や既存顧客へのソリューション案件が増加しました。
- ・ オリジナルパッケージ開発及び販売事業
(連結子会社 メディアドライブ(株))
コンシューマ向け製品は、店頭流通市場の縮小、製品の低価格化が続いており、また、ソリューションシステムについては、大型案件が少なかったため売上高は伸びませんでした。

(当社)
「Nature」シリーズは、BIツール市場の競争激化の影響を受け売上高は伸びませんでした。「マンション管理システム」は売上高は増加しているものの、利益面では厳しい状況が続いております。「セマンティックソリューション」は引き続きあらたな電子化ソリューションの開発を進めました。
- ・ ハードウェア組立事業（連結子会社 エヌジェーケーテクノ・システム(株)）
主要取引先からの受注が継続しており、堅調に推移しました。

② 次四半期の見通し

- ・ ソフトウェア開発事業
案件は増加傾向にあるものの、依然として分野を問わず厳しい受注環境（受注単価、開発期間）が続いているため、年度末に向け、きめ細かな採算管理、プロジェクト管理を行い、利益の拡大に努めてまいります。
- ・ ネットワーク機器・システム商品販売事業
見込み案件の確実な受注と新規案件の積み上げに努め、業績を挽回してまいります。
- ・ オリジナルパッケージ開発及び販売事業
(メディアドライブ(株))
コンシューマ向け製品は、引き続き店頭販売の拡充に努めるとともに、「Web名刺」など他社製品へのバンドルにより販売を拡大いたします。また、ソリューションシステムについては、見込み案件は増加しておりますので年度内の売上に努め利益の拡大を図ってまいります。

(当社)
「Nature」シリーズは、昨年12月に発売した主力製品の最新バージョン（「DataNature/E ver. 2」）により競合製品との差別化を図り、売上高の拡大に努めます。また、「マンション管理システム」は、見込み案件の年度内売上に向け注力し、「セマンティックソリューション」は、開発した電子化ソリューションについて、受注獲得に向けた営業を展開してまいります。
- ・ ハードウェア組立事業（エヌジェーケーテクノ・システム(株)）
主要取引先からの受注の獲得と原価の圧縮を継続し、利益の拡大に努めてまいります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成18年3月期第3四半期	14,974	9,455	63.1	654	73
平成17年3月期第3四半期	16,197	9,720	60.0	675	72
(参考) 平成17年3月期	16,675	9,862	59.1	689	38

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年3月期第3四半期	231	△ 74	△ 716	4,984
平成17年3月期第3四半期	213	△ 984	206	4,800
(参考) 平成17年3月期	793	△ 338	△ 277	5,544

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態

総資産につきましては、前期末に計上した売上債権を回収する一方、前期末に計上した買掛金債務の支払、借入金の返済、法人税等の支払、配当金の支払などにより、前期末に比べ17億円減少し149億7千4百万円となりました。

株主資本につきましては、減損会計の適用に伴い再評価に係る繰延税金資産を土地再評価差額金に振り替えたことなどにより、前期末に比べ4億7百万円減少し94億5千5百万円となりました。なお、株主資本比率は、総資産の減少に伴い前期末に比べ4.0%上昇し63.1%となりました。

② キャッシュ・フロー

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、2億3千1百万円となりました。

買掛金債務や法人税等などの支払がありましたが、売上債権の回収などにより資金は増加しました。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用された資金は、7千4百万円となりました。継続して市場販売を目的としたソフトウェアの開発に投資するほか、余裕資金の運用として投資有価証券の取得・売却を行っております。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用された資金は、7億1千6百万円となりました。借入金の返済、配当金の支払などに支出しております。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の期末残高は前期末に比較して5億5千9百万円減少して49億8千4百万円となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

業績予想の変更はしていません。

なお、平成17年11月10日の平成18年3月期中間決算発表時に公表した業績予想は以下のとおりです。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	15,900	500	100

1株当たり予想当期純利益（通期） 7円07銭

（参考）平成18年3月期の個別業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	13,600	470	400	10 00	10 00

1株当たり予想当期純利益（通期） 28円29銭

※業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上

[添付資料]

連結財務諸表等

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I. 流 動 資 産					
現 金 及 び 預 金	2,525	3,143	△ 618	△ 19.7	3,186
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	2,204	2,530	△ 325	△ 12.9	3,159
有 価 証 券	3,059	2,968	91	3.1	3,460
た な 卸 資 産	847	892	△ 44	△ 5.0	521
そ の 他	461	840	△ 378	△ 45.1	458
流 動 資 産 合 計	9,099	10,375	△ 1,275	△ 12.3	10,787
II. 固 定 資 産					
有 形 固 定 資 産	1,715	1,994	△ 279	△ 14.0	1,991
無 形 固 定 資 産	286	315	△ 28	△ 9.1	309
投 資 そ の 他 の 資 産	3,873	3,511	361	10.3	3,587
固 定 資 産 合 計	5,875	5,821	53	0.9	5,888
資 産 合 計	14,974	16,197	△ 1,222	△ 7.5	16,675
(負 債 の 部)					
I. 流 動 負 債					
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	777	772	4	0.6	1,038
短 期 借 入 金	1,895	2,594	△ 699	△ 26.9	2,206
そ の 他	849	878	△ 29	△ 3.4	1,352
流 動 負 債 合 計	3,522	4,246	△ 723	△ 17.0	4,597
II. 固 定 負 債					
長 期 借 入 金	686	931	△ 245	△ 26.4	870
退 職 給 付 引 当 金	826	813	12	1.6	844
そ の 他	226	208	18	8.8	210
固 定 負 債 合 計	1,739	1,953	△ 214	△ 11.0	1,925
負 債 合 計	5,261	6,199	△ 938	△ 15.1	6,523
(少 数 株 主 持 分)					
少 数 株 主 持 分	258	277	△ 19	△ 6.9	289
(資 本 の 部)					
I. 資 本 金	4,222	4,222	-	-	4,222
II. 資 本 剰 余 金	3,505	3,505	-	-	3,505
III. 利 益 剰 余 金	2,708	2,737	△ 28	△ 1.0	2,950
IV. 土 地 再 評 価 差 額 金	△ 918	△ 550	△ 368	-	△ 550
V. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	384	160	224	140.0	122
VI. 自 己 株 式	△ 446	△ 354	△ 92	-	△ 388
資 本 合 計	9,455	9,720	△ 265	△ 2.7	9,862
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	14,974	16,197	△ 1,222	△ 7.5	16,675

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売 上 高	10,669	10,692	△ 23	△ 0.2	15,167
II. 売 上 原 価	8,219	8,412	△ 192	△ 2.3	11,806
売 上 総 利 益	2,449	2,280	169	7.4	3,360
III. 販売費及び一般管理費	2,303	2,446	△ 143	△ 5.9	3,196
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	146	△ 166	312	-	164
IV. 営 業 外 収 益	150	105	45	42.7	150
V. 営 業 外 費 用	43	36	6	17.4	47
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	254	△ 97	351	-	267
VI. 特 別 利 益	67	28	39	141.7	115
VII. 特 別 損 失	283	110	173	156.3	151
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	38	△ 180	218	-	230
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	18	31	△ 12	△ 40.4	270
法 人 税 等 調 整 額	93	△ 67	161	-	△ 122
少 数 株 主 利 益	△ 7	△ 10	2	-	2
四半期(当期)純利益 又は 四半期(当期)純損失(△)	△ 66	△ 133	66	-	79

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) (平成17年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	38	△ 180	230
減 価 償 却 費	223	259	336
退職給付引当金の増減額(減少：△)	△ 18	118	149
売上債権の増減額(増加：△)	954	1,483	854
仕入債務の増減額(減少：△)	△ 260	△ 656	△ 391
たな卸資産の増減額(増加：△)	△ 363	△ 357	4
そ の 他	△ 68	△ 256	△ 192
小 計	506	410	992
利息及び配当金の受取額	48	25	37
利息の支払額	△ 26	△ 30	△ 40
法人税等の支払額	△ 296	△ 191	△ 196
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	213	793
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定性預金の純減少額(純増加額：△)	300	△ 300	△ 200
有形固定資産の取得による支出	△ 35	△ 83	△ 85
無形固定資産の取得による支出	△ 141	△ 93	△ 141
投資有価証券の取得による支出	△ 1,115	△ 1,148	△ 1,363
投資有価証券の売却による収入	914	627	973
そ の 他	2	14	478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 984	△ 338
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(純減少額：△)	△ 311	332	△ 56
長期借入金の借入による収入	-	500	500
長期借入金の返済による支出	△ 184	△ 303	△ 365
自己株式の購入による支出	△ 81	△ 175	△ 209
配当金の支払額	△ 143	△ 133	△ 133
少数株主への配当金の支払額	△ 13	△ 13	△ 13
そ の 他	15	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 716	206	△ 277
IV. 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 559	△ 565	178
V. 現金及び現金同等物の期首残高	5,544	5,366	5,366
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	4,984	4,800	5,544

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期)

(単位：百万円)

	ソフトウェア 開発事業	ネットワーク機器・システム 商品販売事業	オリジナルパッケージ 開発及び販売 事業	ハードウェア 組立事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
外部顧客に対する売上高	7,264	1,962	859	548	35	10,669	-	10,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	0	2	-	13	19	(19)	-
計	7,267	1,962	861	548	49	10,688	(19)	10,669
営業費用	6,885	2,015	1,080	498	78	10,557	(34)	10,522
営業利益	382	△ 52	△ 218	49	△ 29	131	15	146

(注) 前連結会計年度まで区分表示しておりました「出版事業」につきましては、事業の縮小により重要性がなくなったため当連結会計年度より「その他事業」に含めて記載しております。

なお、その他事業に含めた「出版事業」の実績は以下のとおりであります。

外部顧客に対する売上高	7百万円
セグメント間の内部売上高又は振替高	-
売上高 計	7百万円
営業費用	50百万円
営業利益又は営業損失(△)	△42百万円

前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)

(単位：百万円)

	ソフトウェア 開発事業	ネットワーク機器・システム 商品販売事業	オリジナルパッケージ 開発及び販売 事業	ハードウェア 組立事業	出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高									
外部顧客に対する売上高	7,371	1,653	1,049	572	23	22	10,692	-	10,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	0	3	2	29	12	53	(53)	-
計	7,377	1,654	1,052	575	52	34	10,746	(53)	10,692
営業費用	7,384	1,711	1,191	518	96	30	10,933	(74)	10,858
営業利益	△ 7	△ 57	△ 138	56	△ 43	3	△ 187	20	△ 166

[所在地別セグメント情報]

前年第3四半期(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)及び当第3四半期(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)のいずれにおいても、本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

個別財務諸表等

5. (要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I. 流 動 資 産					
現 金 及 び 預 金	1,701	1,891	△ 189	△ 10.0	1,940
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	1,618	1,901	△ 282	△ 14.9	2,403
有 価 証 券	3,059	2,968	91	3.1	3,460
た な 卸 資 産	721	726	△ 5	△ 0.8	406
そ の 他	382	779	△ 396	△ 50.9	390
流 動 資 産 合 計	7,482	8,266	△ 783	△ 9.5	8,600
II. 固 定 資 産					
有 形 固 定 資 産	1,635	1,882	△ 247	△ 13.1	1,871
無 形 固 定 資 産	191	239	△ 48	△ 20.1	233
投 資 そ の 他 の 資 産	5,240	4,416	824	18.7	4,442
固 定 資 産 合 計	7,067	6,538	529	8.1	6,548
資 産 合 計	14,550	14,805	△ 254	△ 1.7	15,149
(負 債 の 部)					
I. 流 動 負 債					
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	671	653	18	2.8	904
短 期 借 入 金	1,895	1,825	70	3.8	1,437
そ の 他	738	744	△ 5	△ 0.7	1,165
流 動 負 債 合 計	3,306	3,223	82	2.6	3,508
II. 固 定 負 債					
長 期 借 入 金	686	931	△ 245	△ 26.4	870
退 職 給 付 引 当 金	811	790	20	2.6	827
そ の 他	106	203	△ 96	△ 47.5	203
固 定 負 債 合 計	1,604	1,925	△ 321	△ 16.7	1,900
負 債 合 計	4,910	5,148	△ 238	△ 4.6	5,408
(資 本 の 部)					
I. 資 本 金	4,222	4,222	-	-	4,222
II. 資 本 剰 余 金	3,505	3,505	-	-	3,505
III. 利 益 剰 余 金	2,940	2,753	187	6.8	2,910
IV. 土 地 再 評 価 差 額 金	△ 966	△ 638	△ 328	-	△ 638
V. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	384	158	226	142.7	120
VI. 自 己 株 式	△ 446	△ 345	△ 101	-	△ 379
資 本 合 計	9,640	9,656	△ 16	△ 0.2	9,740
負 債 、 資 本 合 計	14,550	14,805	△ 254	△ 1.7	15,149

6. (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売 上 高	9,291	9,063	228	2.5	12,866
II. 売 上 原 価	7,348	7,370	△ 21	△ 0.3	10,343
売 上 総 利 益	1,943	1,693	250	14.8	2,523
III. 販売費及び一般管理費	1,789	1,843	△ 54	△ 2.9	2,395
営業利益又は営業損失(△)	153	△ 150	304	-	127
IV. 営業外収益	191	149	42	28.2	193
V. 営業外費用	35	28	6	22.2	37
経常利益又は経常損失(△)	309	△ 30	339	-	283
VI. 特別利益	330	26	303	-	85
VII. 特別損失	213	98	115	117.9	160
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	425	△ 101	527	-	208
法人税、住民税及び事業税	17	11	5	48.3	215
法人税等調整額	100	△ 57	157	-	△ 106
四半期(当期)純利益 又は 四半期(当期)純損失(△)	308	△ 56	364	-	100